

# きほく人奮闘記



菜の花まつり実行委員会 会長  
にのみや みか  
二宮 美日さん

## 第4回菜の花まつり

日時 3月17日(日) 10時～15時

場所 三島公民館前

内容 菜の花、菜種油を使った手作り小物や鬼北の特産品を販売。また、えごま柚子ドレッシングを使用した菜の花サラダの試食会を実施。さらに、菜の花音楽会、人形劇や絵手紙体験、鬼ぐるみ体験会など、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんです。ぜひお越しください。

菜の花まつり実行委員会会長の二宮美日さんが幼い頃から好きな花、それは「菜の花」。その菜の花を使って町おこしをしたいとの思いから始まった「菜の花まつり」は、今年で4回目を迎えます。

昭和40年頃の鬼北地域は菜種の産地だったそう。畑一面が黄色く染まるその様子を、「日本の原風景」と話す二宮さん。現在、二宮さんは鑑賞用と食用の菜の花を栽培中。「イベント当日に皆さんに披露できるように上手く育つといいな」と、その目は希望に満ち溢れています。

今年の菜の花まつりのテーマは「いい顔・元気 三島」。昨年7月の豪雨災害からの復興を願い、このテーマが掲げられました。実行委員会の中心は、二宮さんの地元である三島地区の仲間たち。二宮さんは「地域の皆さんの協力があるからこそ、このイベントが開催できている」と感謝の思いでいっぱい。菜の花まつりは、地元の皆さんの優しさが詰まった「五感」で楽しめるイベントなのです。

実行委員会では、このイベントをさらにPRするために、テーマソングやマスコットキャラクターを作成するなど、毎年試行錯誤を重ねています。二宮さんは「この菜の花まつりが、夏のでちこんか(川上り駅伝大会)、秋のでちこんかに続き、「春のでちこんか」として鬼北町に定着するように、三島から鬼北町全体に笑顔と元気を発信していきたい」と微笑みながらも、強く意気込んでいました。

## 鬼王丸 ほんのぼの日記

作 榊形 浩人  
絵 にのみや なつみ



## 人口と 1/31現在

### 世帯数

人口	10,351人
男性	4,822人
女性	5,529人
世帯数	5,048世帯

※外国人住民を含みます。



編集後記  
▼もうすぐ訪れる出会いと別れの季節。私が小学校を卒業する時、校長先生から一人ひとりにいただいた色紙に「一期一会」という言葉が書かれてありました。これからもたくさん訪れる出会いに感謝していきたいです。出会いの中には運命的なものがあるかもしれない。▼近隣住民の方から「鬼の形をした卵がある」ということで、役場にお持ちいただいた卵。その卵には鬼の角のようなものが…。一体なぜこのような形で生まれたのか…謎に包まれます。(悠)